

伝統と創生に触れ、新たな自分に気づく旅 「脱デジタル滞在・夏」今年も開催決定

2017年6月1日～8月31日



星のや京都では、2017年6月1日～8月31日の期間、季節ごとに内容を変えた滞在プログラム「脱デジタル滞在・夏」を開催いたします。パソコンやスマートフォンが欠かせない存在となった現代社会、便利な反面、現代人は気づかぬうちにストレスを蓄積させているようです。京の自然や伝統文化に触れながら、そういったストレスから解放される体験を提供します。



脱デジタルへの道程

嵐山は、古くから避暑地として親しまれてきました。清流の流れる大堰川を専用舟で上る道程は、街の喧騒や暑さを忘れさせてくれます。チェックインを部屋で済ませたら、デジタル機器は全てスタッフが保管をします。テクノロジーと忙しさに囲まれた日常生活を一時的に遮断する滞りの始まりです。

「脱デジタル滞在」とは、携帯電話やパソコンといったデジタル機器から一時的に離れ、京文化や四季折々の自然に触れる体験を通して、本来の自分を取り戻すことを目的にした2泊3日の滞在プログラムです。

- 期間: 6月1日～8月31日 ■ 料金: 95,000円 (税・サービス料10%別) * 宿泊料別
- 含まれるもの: 間香入門、朝のお勤め体験、屋形舟、華道入門、水辺の深呼吸、朝食2回・昼食1回・夕食2回
- 予約: 開催日2週間前までに要予約 ■ 予約方法: お電話(星のや総合予約: 0570-073-066)またはメール (info_kyoto@hoshinoya.com)にてご予約

星のや京都

古よりの王朝貴族の清遊地、京都・嵐山。百人一首で知られる小倉山と嵐山の峡谷に佇む水辺の私邸、五味を自在に表現している日本料理、四季の美しい景観と静けさの非日常の世界を楽しんでいただける京都のリゾートです。

所在地:

〒616-0007 京都府京都市西京区嵐山元録山町11-2

電話番号: 0570-073-066(星のや総合予約)

客室: 5タイプ/25部屋

料金: 81,000円～(1室あたり/税・サービス料10%込・食事別)

本リリースに関する報道関係からのお問合せ先

星野リゾート グループ広報

TEL: 03-5159-6323 FAX: 03-6368-6853

E-mail: pr-info@hoshinoresort.com





香に心をゆだねる聞香入門

チェックイン後に、香道の歴史、香りの聞き方、表現の方法などを学びながら、山田松香木店から取り寄せた貴重な香木を使い、聞香を体験します。かつて戦陣にむかう武将が、精神統一のために香を用いていたと言われていました。香りを意識して楽しむことを古くから「聞香」といい、その作法は、茶道・華道と並ぶ伝統文化として踏襲されてきました。

禅寺で体験する朝のお勤め

翌朝、観光でにぎわう前の寺院にて座禅を行います。静寂に包まれる早朝、凛とした空気の中で行われる座禅は、より邪念を払い、自らを見つめ直す時間を得られます。また、座禅のあとは、伽藍にてお茶とともに和尚の説法が行われます。



大堰川で楽しむお昼寝

2日目の昼食までの時間、お昼寝専用にしつらえられた舟で、お昼寝をします。日中でも川に屋形舟で繰り出せば、手に取るように清流や青紅葉、涼やかな風を身近に感じることができます。また、星のや京都のライブラリーには、京都一乗寺にある書店、恵文社がセレクトした書籍を用意しています。ハーブティーや水出し玉露と一緒に、夏のくつろぎひとときを楽しむことができます。

お家元に学ぶ 華道のプライベートレッスン

3日目の朝食後、お部屋にて未生流笹岡（みしょうりゅうささおか）のお家元、笹岡隆甫（ささおかりゅうほ）氏から華道のプライベートレッスンを受けます。

華道は、茶道・香道と並ぶ日本の伝統文化です。その流派のうちの一つ、未生流は、時代の要請に合わせて進化を繰り返しながら、未生斎一甫（みしょうさいいっぽ）の生け花を現代に正しく伝え続けてきています。草花を美しく活かす技や作法を知ることを通して、日本の四季や歳時記など日本人が培ってきた美意識を学びます。



スケジュール例

1日目

15:00 チェックイン
16:30 聞香入門
18:00 ご夕食

2日目

5:00 有名禅寺での朝のお勤め体験
8:30 星のや特製朝鍋のご朝食
9:30 屋形舟でのお昼寝
12:00 空中茶室でのご昼食
18:00 ご夕食

3日目

8:00 朝食
10:00 華道のプライベートレッスン
12:00 チェックアウト

歳時記に合わせた脱デジタル滞在の提案

星のや京都の脱デジタル滞在では、京都の文化や四季の自然に親しむプログラムを提供していきます。現代の生活では忘れがちな、デジタルでは測れない豊かさを、京都の町が守り培ってきた伝統から、学び発信して参ります。